

渋谷ヒカリエ 様

取材撮影ご協力:
東京急行電鉄株式会社 様
東急建設株式会社 様

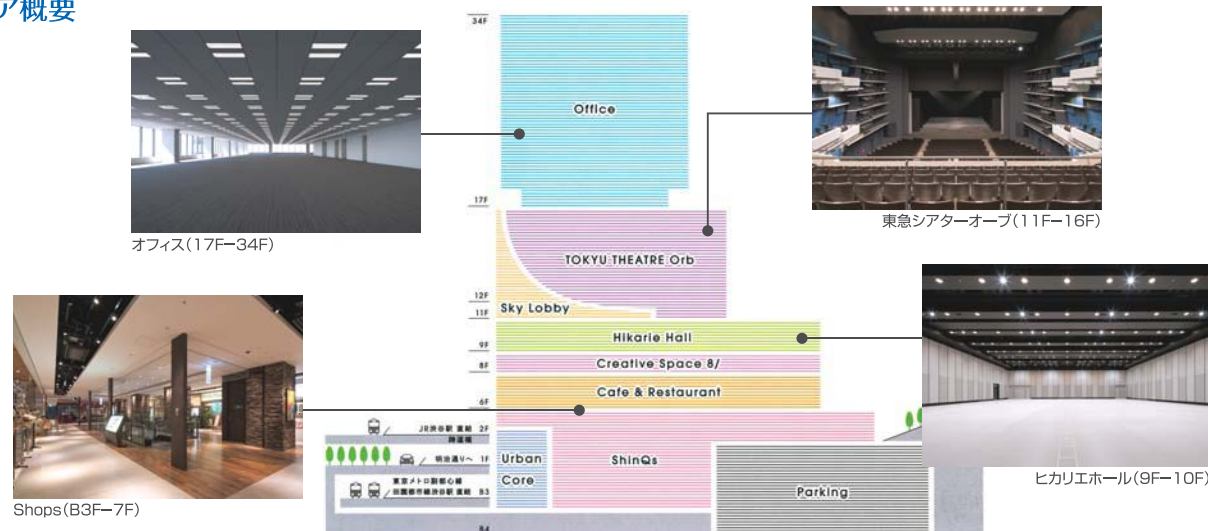
かつてプラネタリウムや映画館で構成された東急文化会館のDNAを引き継ぎ、渋谷の新たなランドマークとして2012年4月に開業されました。
「渋谷ヒカリエ」とは、渋谷から未来を照らし、世の中を変える光になるという意志を込めて名付けられました。
オフィス、商業、劇場をはじめとする文化施設からなる地上34階建の複合タワーは、多様な機能で新たな価値を発信しています。

- 所在地 東京都渋谷区渋谷2-21-1
- 開業 2012年4月
- 敷地面積 9,640.18m²(2,916.15坪)
- 規模 地上34階、地下4階、塔屋2階
- 延床面積 144,545.75m²(43,725.08坪)
- 事業主 渋谷新文化街区プロジェクト推進協議会
事業推進者 東京急行電鉄(株)
- 基準冷暖房供給時間 月間190時間
- 開館時間 7:00~25:00(24時間入退館可)
- 駐車場 機械式402台(月極・時間貸併用、身障者用3台含)

ビジネスの明日を照らす「光」となる。 渋谷の新たなランドマークになった 高層複合施設



フロア概要



夏場、冬場の空調ピーク 時でもガス焚吸収冷温水機で冷暖房を安定供給

エネルギーのベストミックスにより、安定した冷暖房を実現

地上34階地下4階、延床面積約14万m²の複合タワーの空調は、ターボ冷凍機とガス焚の吸収冷温水機のベストミックスで実現。
当社の吸収冷温水機は、空調負荷の最も大きい夏場、冬場のピーク時に威力を発揮。年間を通じて冷暖房の安定供給に大きく貢献しています。



- 納入機器 二重効用吸収冷温水機 FUW-800F1G1L(ガス焚13A)
- 用途 冷暖房(地下4階~地上34階)
- 納期 2011年6月納入
- 担当 首都圏支店 ビルシステムグループビルシステム第1チーム

環境への配慮はこれからの時代に求められる企業の社会的責任とし、自然エネルギーを最大限に生かす様々な省エネを実践されています。

渋谷ヒカリエ様は、新たな文化とビジネスの中心であると共に、自然エネルギーを最大限に生かした、最先端の環境配慮型次世代複合タワーです。

②環境装置としての地宙船

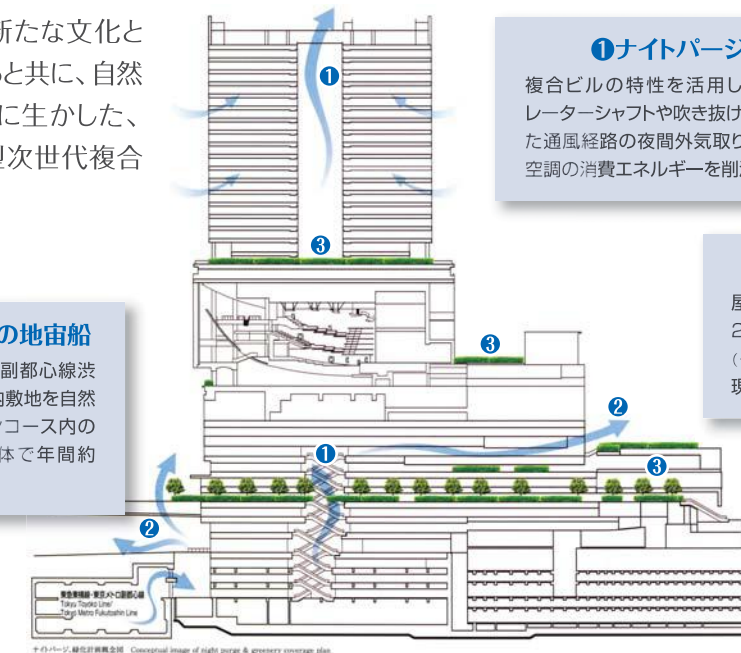
東急東横線・東京メトロ副都心線渋谷駅に隣接するタワー内敷地を自然換気口として活用。コンコース内の熱溜りを回避し、駅全体で年間約1,000tのCO₂を削減。

①ナイトパージ

複合ビルの特性を活用し、エスカレーターシャフトや吹き抜けを利用した通風経路の夜間外気取り入れで、空調の消費エネルギーを削減。

③緑化計画

屋上やデッキ、外構など約2,900m²、緑化率約30%(予定)でヒートアイランド現象を緩和。



■渋谷ヒカリエ様には、吸収冷温水機他、当社ノンフロン冷凍機やショーケースなど食品系機器も多数で採用いただいています。